

道徳通信

No.15 2022年(令和4年)12月5日(月)



学習日：12月1日(木) 内容：「注文を間違える料理店」

「間違えちゃうかもしれないけど、許してね。」と間違えることを受け入れられ、一緒に楽しむ雰囲気がある中で、「認知症を抱える人」が接客する、不思議で温かいレストランの物語。

「間違いを受け入れ、一緒に楽しむ」という気持ちを持って集まった人々が紡ぐ温かな物語を通して、さまざまなものの考え方があること、また、おおらかな気持ちで受け入れることの大切さについて深く考えていきましょう。

【生徒の考え】 授業後に考えたこと、感じたこと

みんなが自分をさらけ出して自分らしく生きることができるよう、お互い寄りそいあって協力して生きていくことが大切だとわかりました。自分らしさを大切にしていきます。

一人の人を基準にすることはできません。みんな違う基準をもっていることが当たり前です。私もこれから、いろんな人の事を認められる人になります。

一人一人に考え方があり、おかれている環境も今まで育ってきた環境も違うので、それらを受け入れて接していきたいと思いました。

長所も短所も一人一人の個性だから、お互いへの個性を認め合い、否定的な言動をせず受け入れようと思いました。

みんなが安心して生活できる社会にするには、お互いの違いを認め合うことが大切だと感じました。その人にはその人の個性があると思うので、「人と比べる」というのは、できるだけ少なくしていけば、自信につながると思いました。

「論破する」という言葉が最近聞かれるようになりました。相手の論理の矛盾を指摘して、論理で言い負かすことです。論理的な考えをきたえるのは良いことですが、相手の落ち度を非難することに意識が集中するようでは心配です。誰でも間違えることはあります。「そういうときもあるよね。」とお互いに言い合いたいものです。温かい雰囲気の学校をみんなで作っていきましょう。